

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2005年10～12月期)

## 第39回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成17年7～9月との比較）
  - （2）前年同期比（平成16年10～12月との比較）
  - （3）来期見通し（平成18年1～3月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	212社
回答率	42.4%
(業種別)	
製造業	83社
建設業	40社
卸売業	20社
小売業	34社
サービス業	35社
合計	212社

## (2) 実施時期

平成17年10～12月期（平成18年2月に実施）

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは(景況判断指数)とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 // ) - (悪化 // )

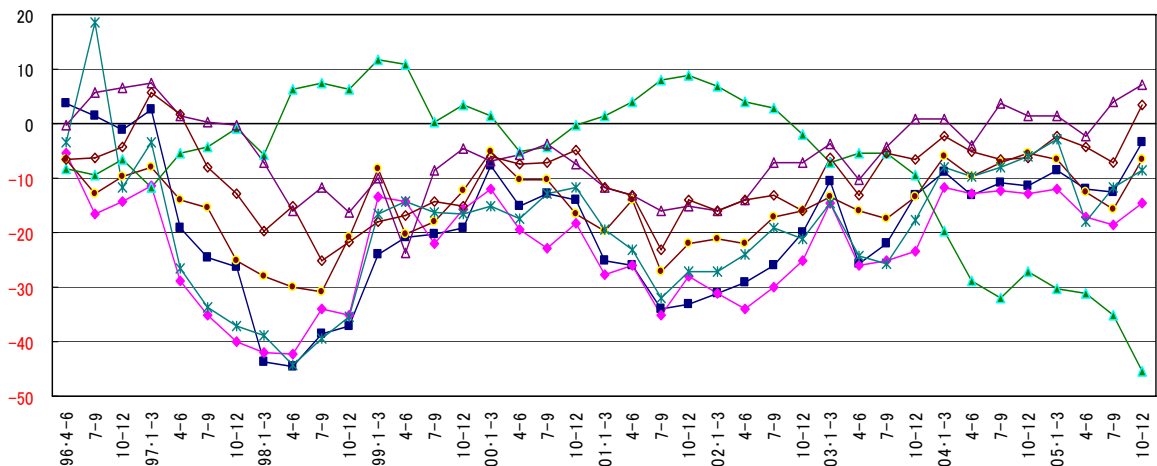
資金繰りD I = (好転 // ) - (悪化 // )

仕入価格D I = (下落 // ) - (上昇 // )

雇用状況D I = (不足 // ) - (過剰 // )

設備投資D I = (拡大 // ) - (減少 // )

業況D I = (好転 // ) - (悪化 // )



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	4-6	7-9	10-12	04/1-3	4-6	7-9	10-12	05/1-3	4-6	7-9	10-12
■売上	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3
◆採算	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6
●資金繰り	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6
▲仕入価格	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3
△雇用状況	-10.3	-4.2	0.8	0.9	-4.1	3.8	1.5	1.4	-2.3	4.0	7.1
◇設備投資	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0	3.3
*業況	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5

### 3. 概況

#### 「D I 値はマイナスも改善傾向、原油高騰を懸念」

##### (1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、全般的に回復をみせた。特に、製造業・卸売業・サービス業のD I 値がプラスとなった。

前年同期比のD I 値は、依然としてマイナス値ではあるが、前回調査より大きく改善している。公共工事削減が響く建設業、大型S C等競争激化が続く卸売業・小売業がまだ足を引っ張るものの、製造業・サービス業では、改善傾向をみせている。

##### (2) 来期の見通し

全体の数値でみると、D I 値は回復基調をみせるが、まだ力強さは感じられない。年度末を控えた建設業、卸売業が目立つ程度。D I 値プラスを示している製造業も前回調査より悪化している。

原油高騰による原材料、仕入れ価格のアップを懸念している。また、「耐震偽装問題」によるマンション需要を気にする声も聞かれた。

##### (3) 経営上の問題点

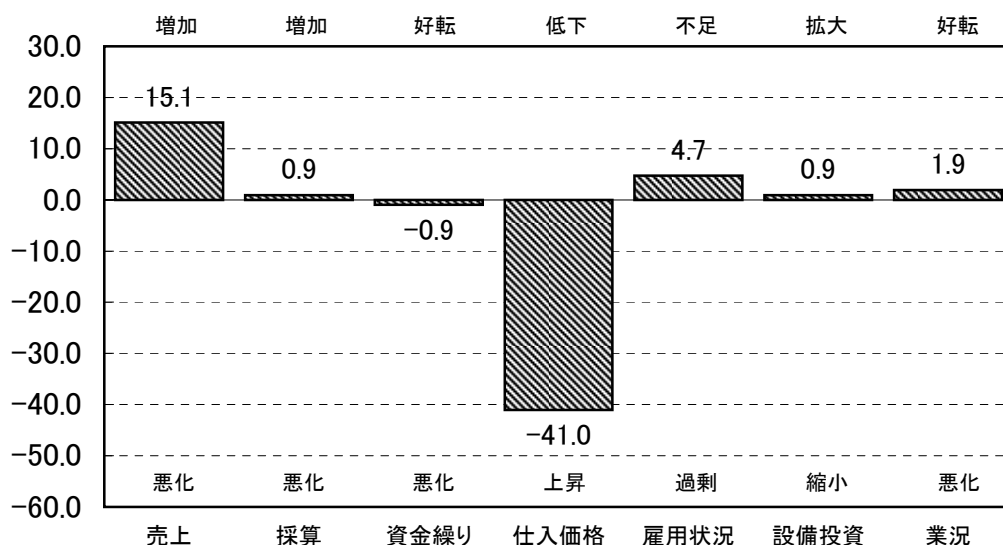
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、県内景気が本格回復になっていない模様。2位に「原材料価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」の上位3つは前回のまま。

##### (4) 今後の対応策

今回も、「その他合理化を実施したい」と「新規市場を開拓したい」が今後の対応策の二本柱。3位には前回同様に「人件費を削減したい」に代わり「新製品の開発を行いたい」が浮上。

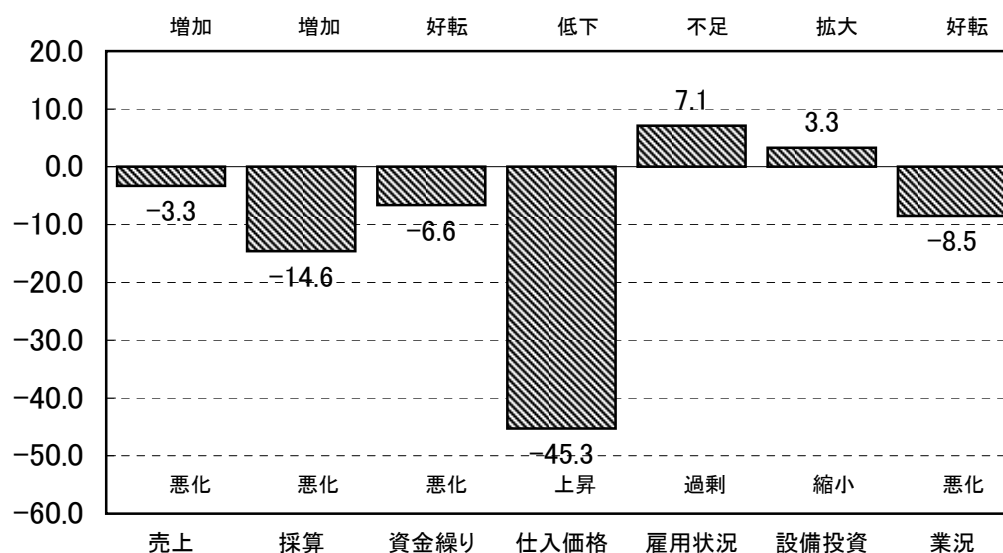
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成17年7～9月比)



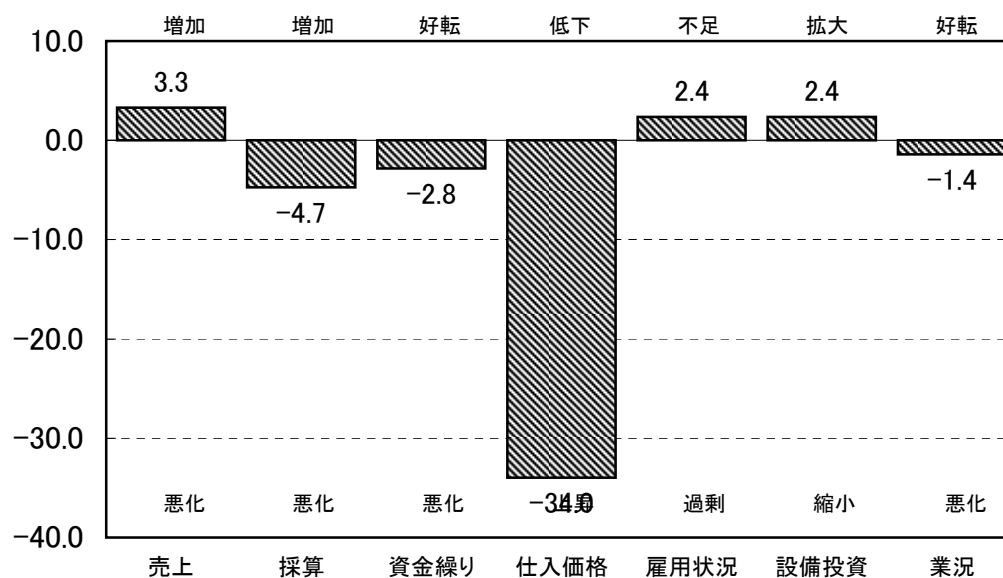
前年比D Iでは、全般的に回復をみせた。特に、製造業・卸売業・サービス業のD I値がプラスとなった。建設業・小売業も前回数値より改善しているが、まだ低水準が続いている。

前年同期比(平成16年10～12月比)



前年同期D Iは、依然としてマイナス値ではあるが、前回調査より大きく改善している。建設業・卸売業・小売業が、まだ足を引っ張っているものの、製造業・サービス業では、改善傾向をみせている。

来期見通し(平成18年1～3月見通し)

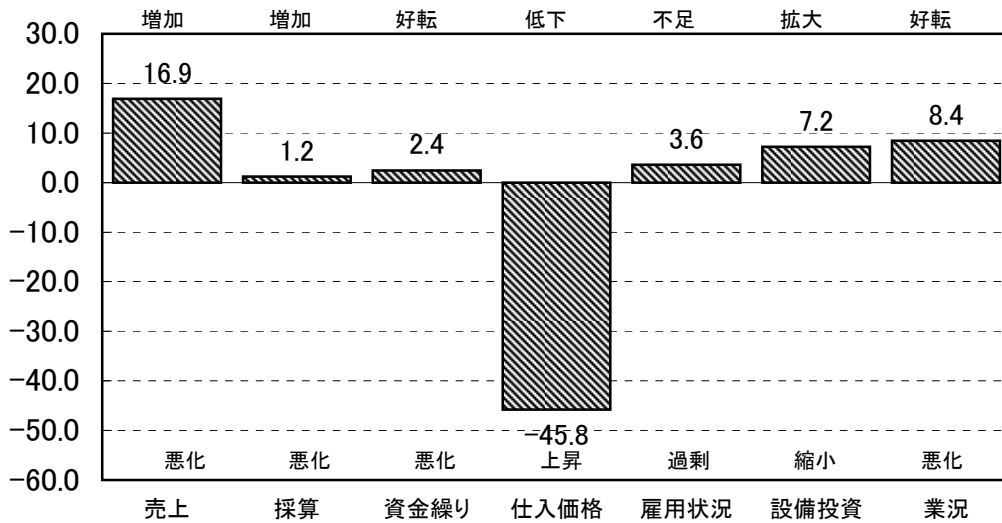


来期見通しD Iは、回復基調をみせるが、まだ力強さは感じられない。年度末を控えた建設業・卸売業が目立つ程度。D I値プラスを示した製造業も前回調査より悪化している。

## 5. 業種別の景気動向

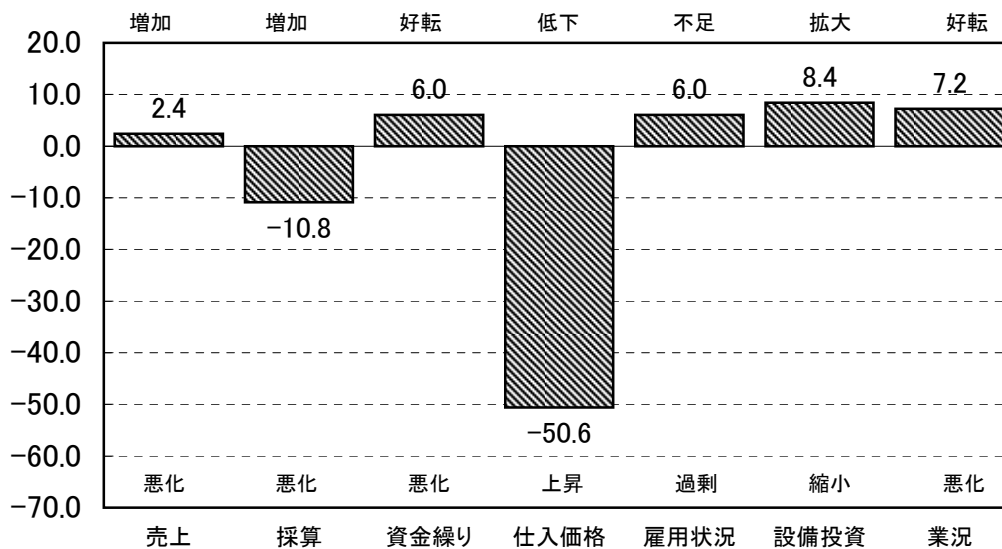
### (1) 製造業

前期比(平成17年7～9月比)



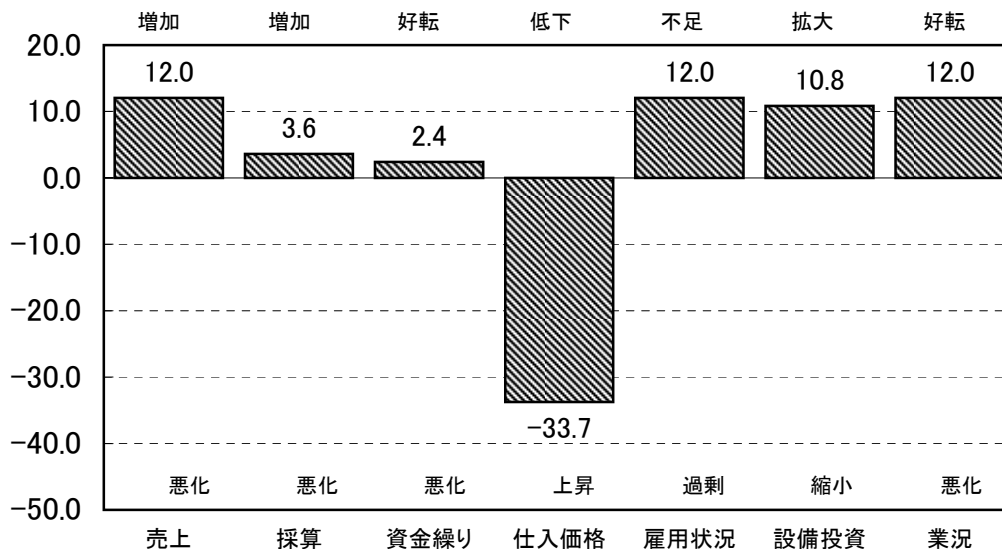
「消費量の減少」(醤油・味噌)、「季節的要因」(清涼飲料水)、原燃料の高騰を挙げる声があるが、自動車・家電関連の製造が好調。「仕入価格」以外のDIがプラスに転じた。

前年同期比(平成16年10～12月比)



「売上は好転しても、原油価格の高騰により、収益面では大きな伸びは見込めない」に代表されるように、DI値は回復傾向にあるが、「首都圏では景況上昇だが、宮崎までは…」の状況が多いものと思われる。

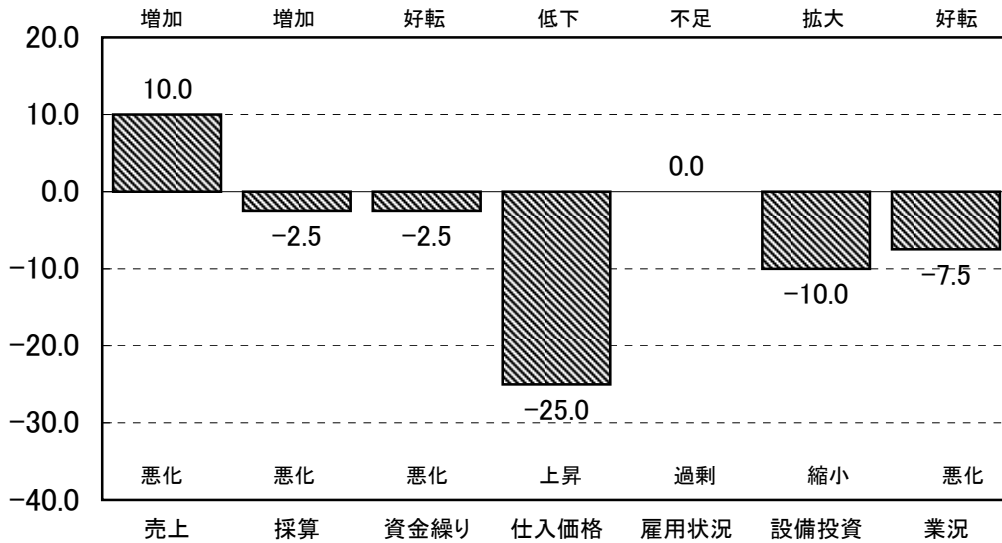
来期見通し(平成18年1～3月見通し)



「見通しが暗い」(印刷業)、「公共工事の落ち込み」(コンクリート)、「海外との競争」(化学品、子供服)との回答があるも、年度末需要に向けて期待をしている模様。一方では、原油高による懸念が表れている。

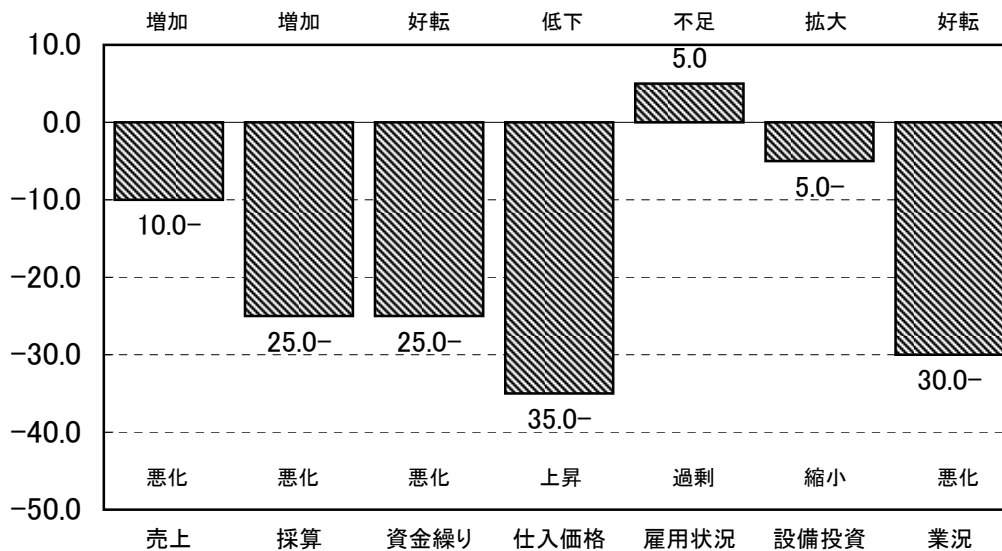
## (2) 建設業

前期比(平成17年7~9月比)



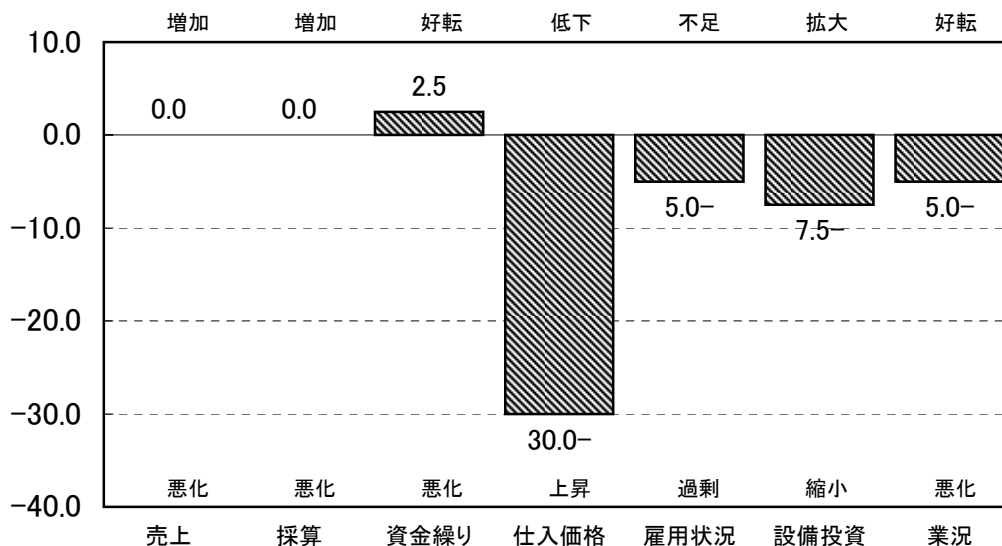
公共工事の削減に原材料・燃料価格の値上がりが加わり、同業種自体は依然として厳しい環境にある模様。売上D Iの数値はプラスだが、業況自体は依然としてマイナスが続く。

前年同期比(平成16年10~12月比)



売上D I値は、前回調査より改善しているものの、公共工事削減→仕事量減→価格競争→単加減に加え、原材料費の高騰が追い討ちをかけており、依然として厳しい状況が続いている。

来期見通し(平成18年1~3月見通し)

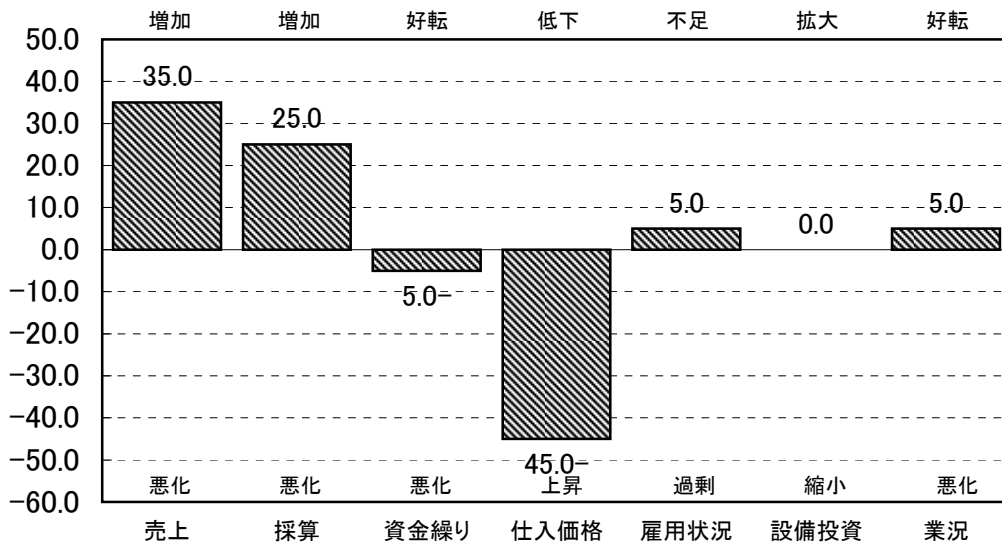


台風14号による災害復旧工事や新年度に入っの工事発注に期待してか、来期見通しは前回調査より大幅に回復している。ただ、一方では、「耐震偽装問題のマンション需要への影響」も聞かれた。



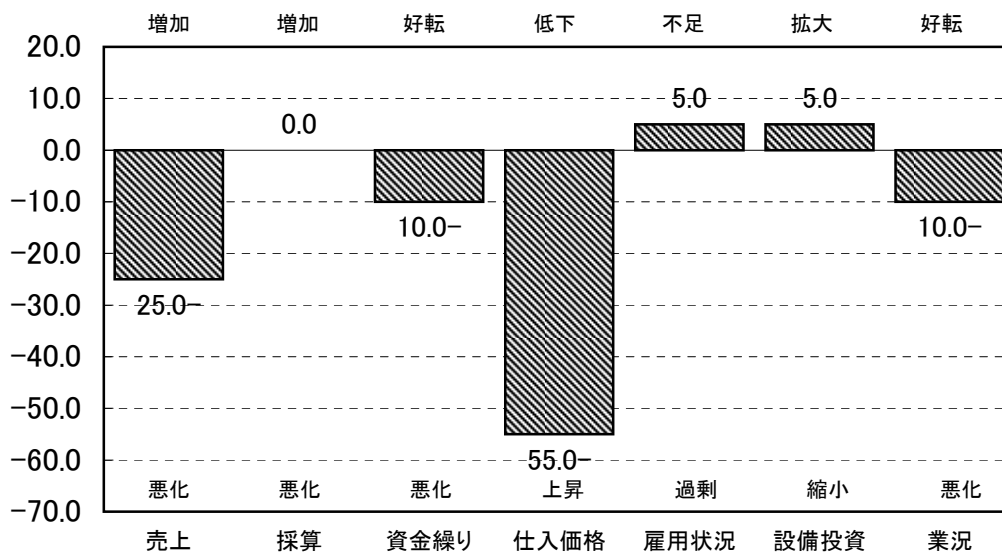
### (3) 卸売業

前期比(平成17年7～9月比)



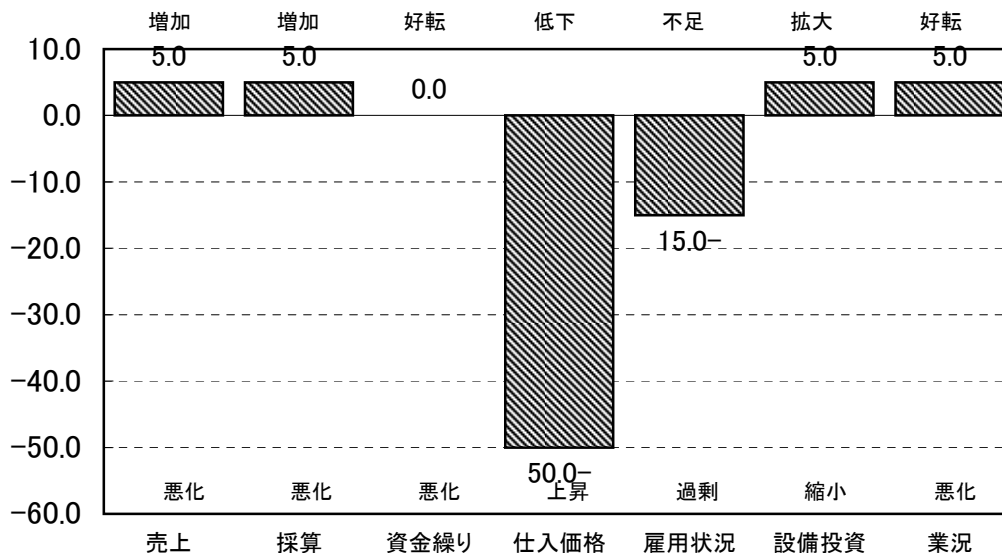
DI値は、前回調査より大幅に改善をみせた。「官公庁も民間と同様に需要減」（紙文具事務機卸）、「小企業冬の時代続く」（鉄鋼卸）、との声が聞かれるが、やはり最需要期の年末であることが大きいと思われる。

前年同期比(平成16年10～12月比)



前期比で大きく改善をみせた卸売業DIだが、前年同期比では依然としてマイナス。「単価安」（青果卸）、「仕入価格が上昇しているが、安売り業者が後を立たない」（包装資材卸）と需要低迷に仕入価格上昇が圧迫している模様。

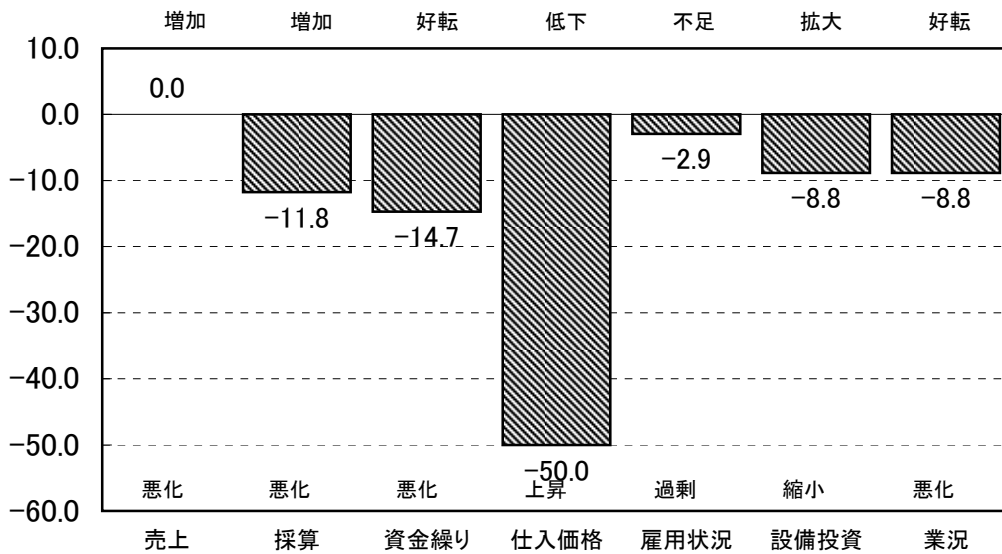
来期見通し(平成18年1～3月見通し)



「設備投資や保全工事があまり出ない」（機械工具）、「競争激化」（食料品卸）などの声もあるが、年度末に向けての期待か、売上・採算ともDI値はプラスに転じた。ただ、仕入価格は依然として大幅マイナスが続く。

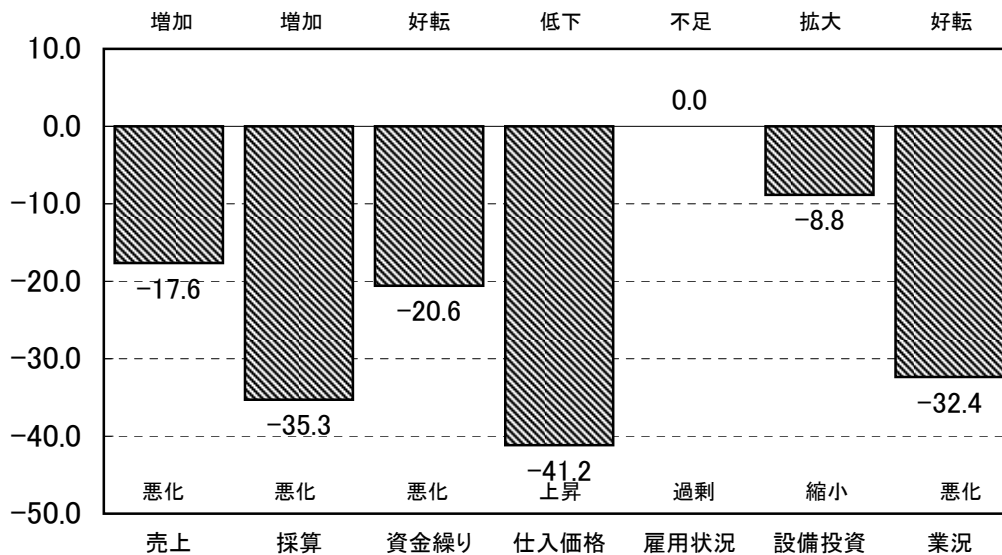
## (4) 小売業

前期比(平成17年7~9月比)



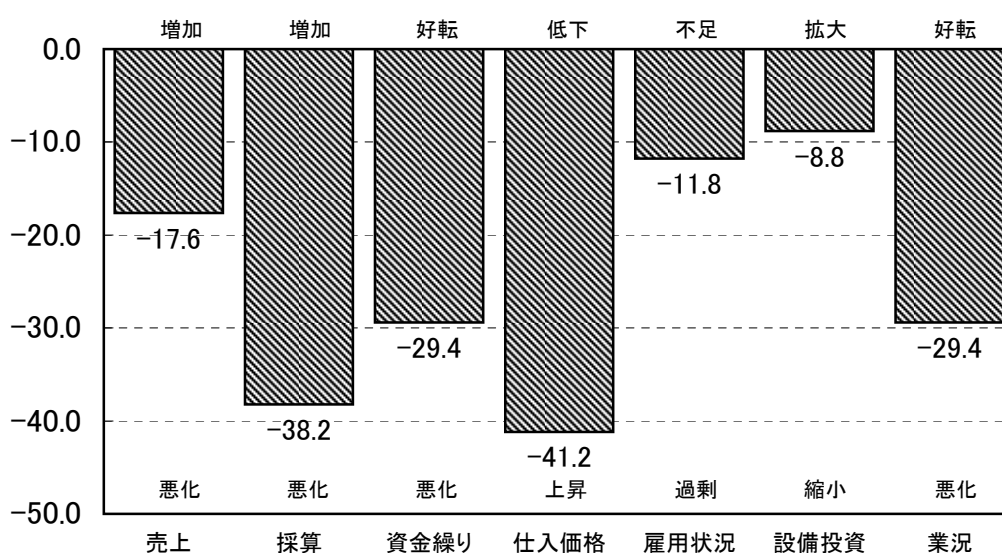
「仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できない」(燃料・ガソリン小売)とあるが、「季節的要因(により好転)」(衣料品、食料品、写真カメラ、酒類)、自動車部品と前回調査よりDI値は改善した。

前年同期比(平成16年10~12月比)



「好感感が消費者にある」(食料品スーパー)、「景気の上向きで少し改善」(建材販売)と景気の回復を感じている企業もあるが、「大きな変化は無い」、「大型SC進出」、「新規参入業者との競争」の影響は続いている模様。

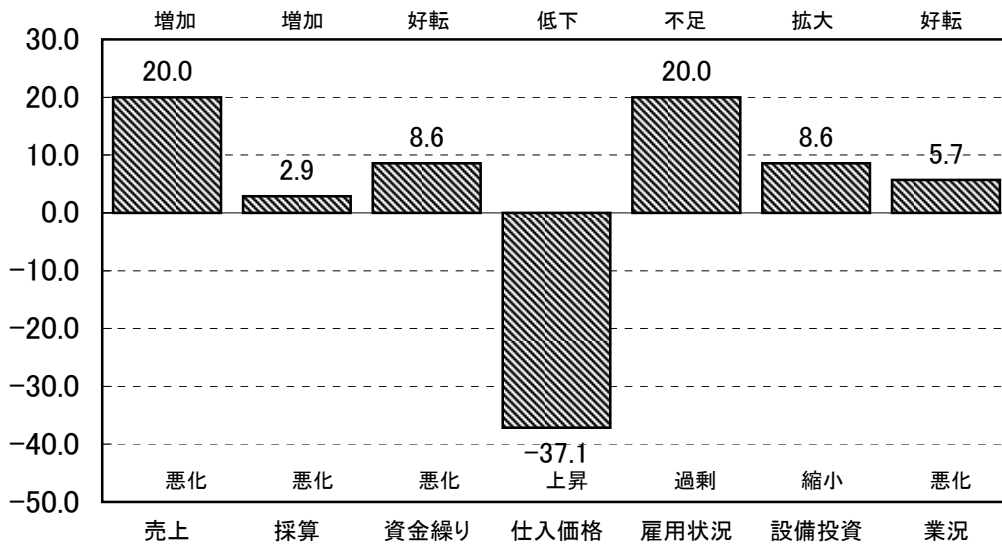
来期見通し(平成18年1~3月見通し)



「年間の最大需要期」(自動車販売)と年度末需要に期待する向きがあるも、年末に最盛期であった業態の反動や大型SCの影響もあり、全業種中最も悪い来期見通しDI値を示した。

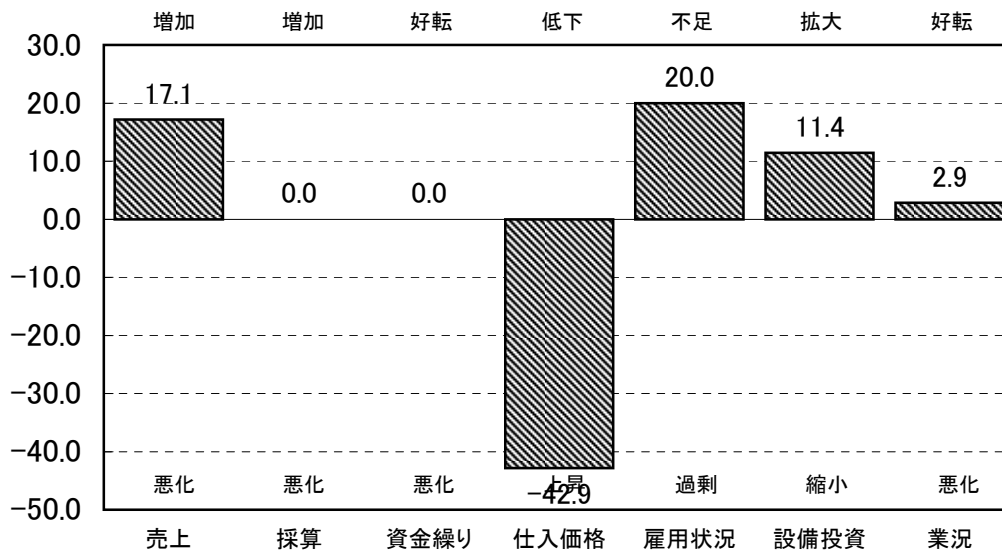
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成17年7~9月比)



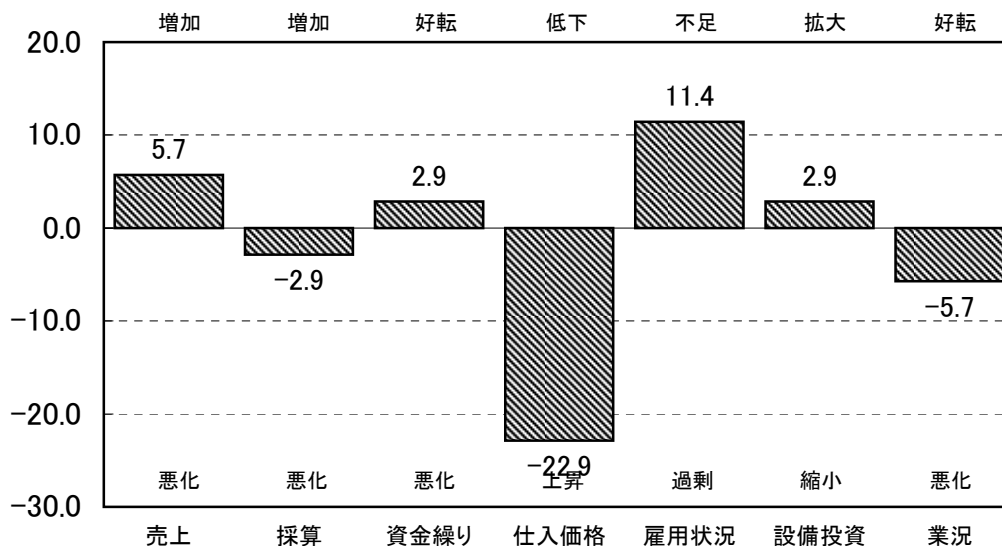
「スポンサー広告宣伝費の圧縮」(広告代理)、「ブライダル市場の縮小」(ホテル)、「燃料の高騰」(運送、タクシー)との意見があるが、「徐々に荷動きが活発化」(運輸)、「景気は良く、業務も多くなっている」(警備保障)と徐々に上向き傾向にある模様。

前年同期比(平成16年10~12月比)



競争激化と単価減、燃料費圧迫により厳しい業態があるが、「昨年比で若干増加」(クリーニング業)、「状況好転」(屋外広告)等、前年同期DIはプラスとなっている。

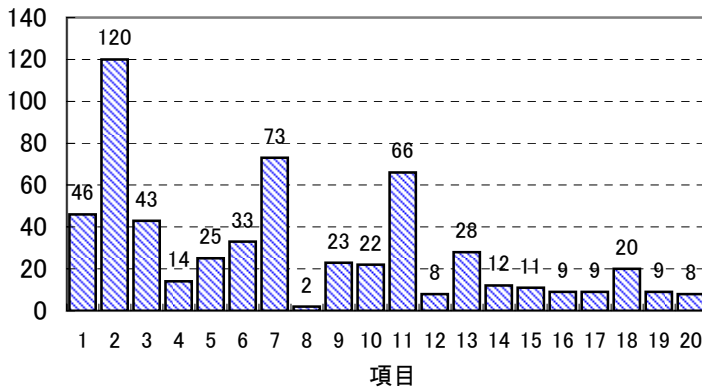
来期見通し(平成18年1~3月見通し)



「来期見通しは極めて厳しい」(旅館業)、「一番の閑散期」(クリーニング)と一部では良くないが、「やや持ち直し気配」(パソコン販売・サービス)、「年度末需要」(屋外広告)と年度末に向けては一進一退の模様。

## 6. 経営上の問題点

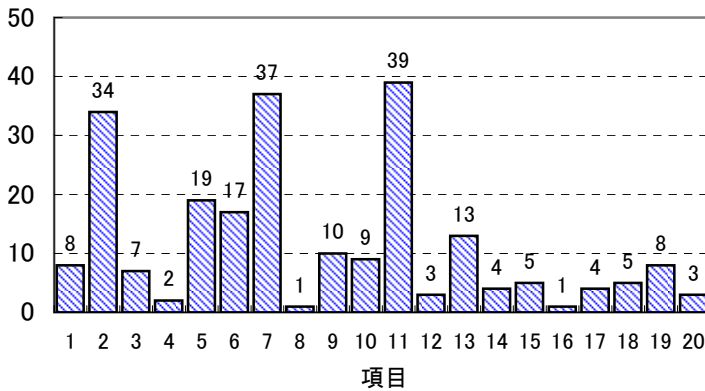
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

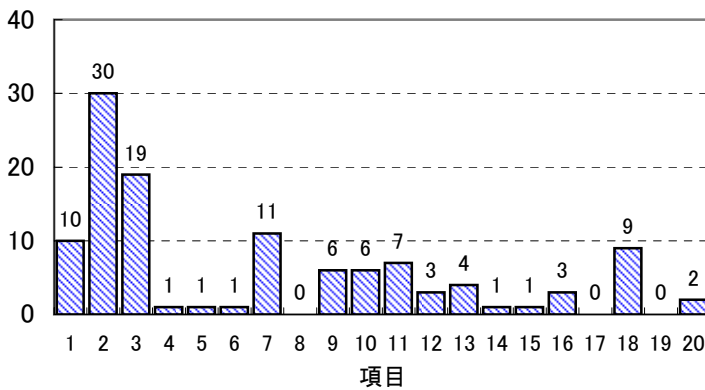
製造業



順位

- 1位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 需要の停滞
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 製品ニーズの変化

建設業



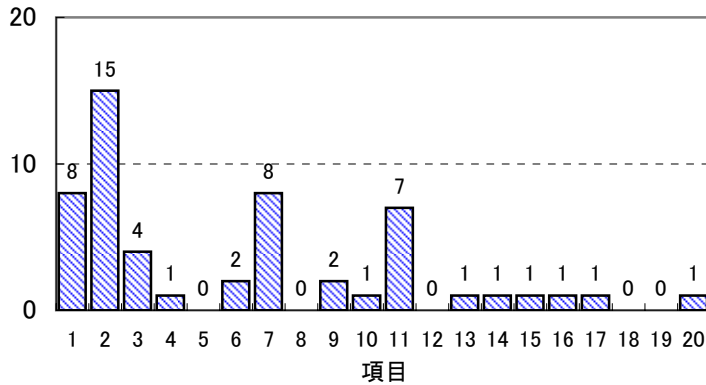
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 取引条件の悪化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

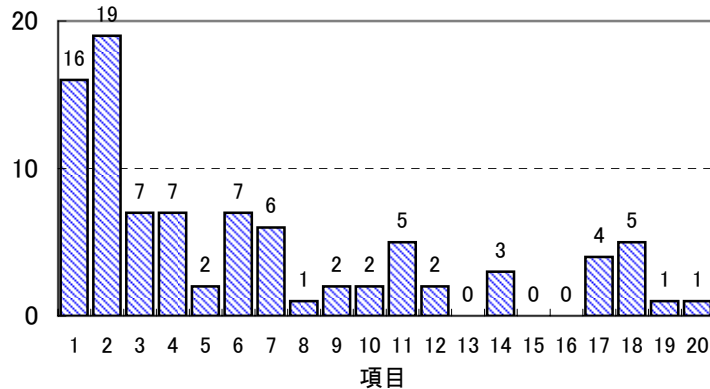
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

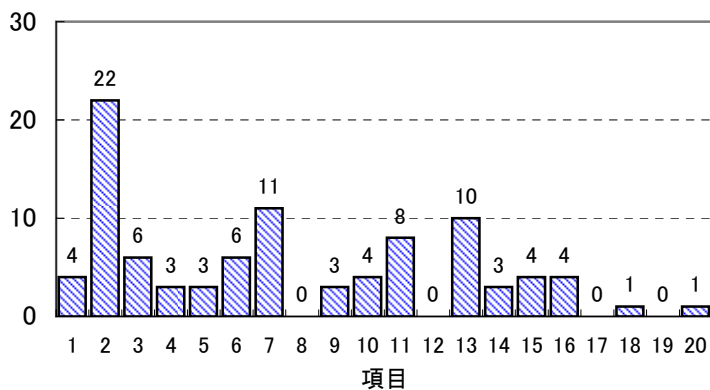
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 製品ニーズの変化

### サービス業



#### 順位

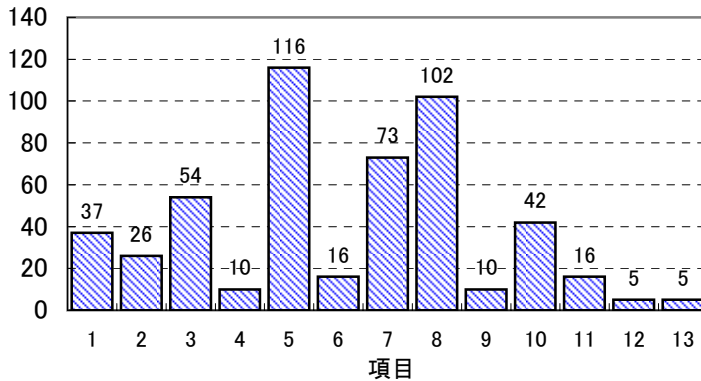
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

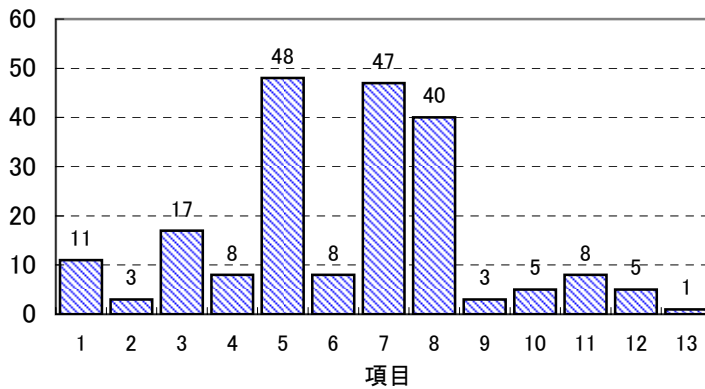
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

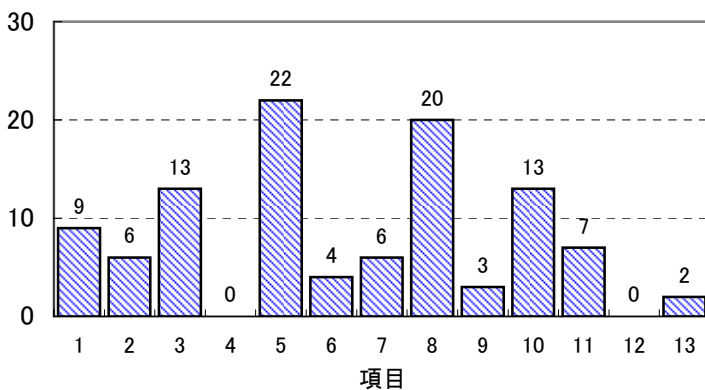
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新製品の開発を行いたい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

建設業



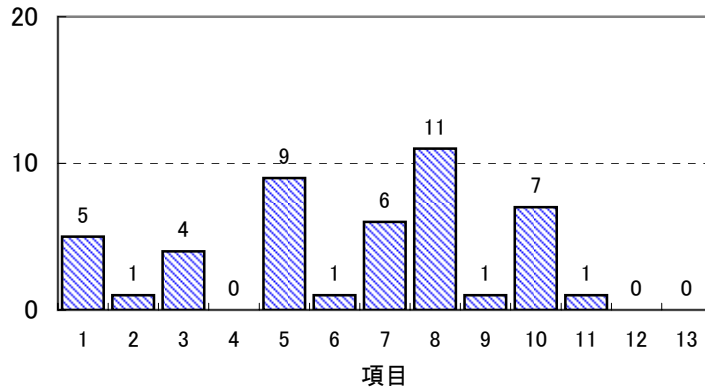
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

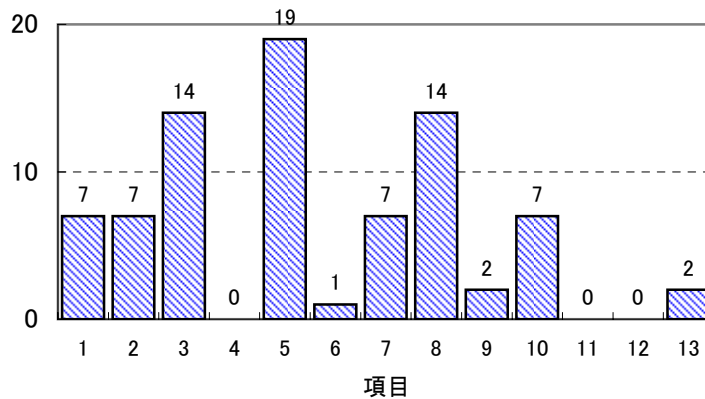
## 卸売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

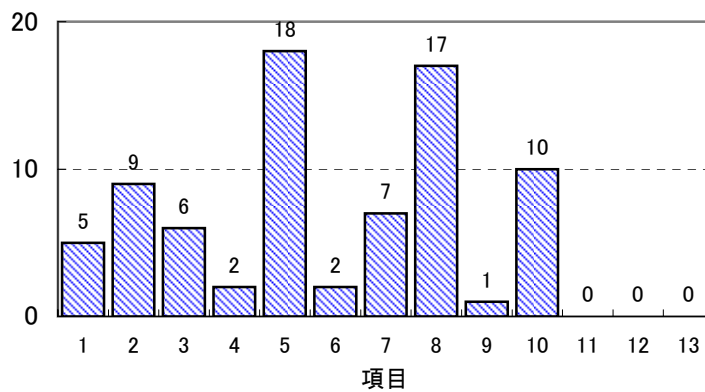
## 小売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 雇用調整を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	一般機械器具製造業	都城	ポリテックセンターに一言申し上げます。県内を4分割にして、機械部門、電気部門平均して生徒数を入れて、県内一円卒業生を廻されるよう努力をしていたきたい。
製造業	製材業	都城	不公平な補助金のばらまきや民事再生法等の無意味な施策はやめて欲しい。平等なる競争で事業を行って欲しい。
製造業	食品製造販売飲食店	宮崎	鶏インフルエンザが九州、宮崎で発生した場合、原材料の調達、消費者動向に大きな影響があるため、プロイラー生産県として万全な対策を望んでいます。
製造業	機械部品、金属加工	宮崎	景気が良くなるとの話はあるが、それは大企業のみであるように見える。中小企業はまだまだ厳しいと思います。雇用対策、景気回復に期待したい(原材料の値上がり30%)。
製造業	化学品製造	延岡	物流の多様化(環境、リスク、コスト等)を考える上でJR貨物、船輸送へシフトしづらい。1)JRコンテナ:取扱が5tまでしか出来ない。着地も同様。2)船輸送:危険物取扱が厳しい(細島港)
製造業	化学工業	延岡	循環型物流網の整備
製造業	木工所	延岡	地域の経済浮揚には、高速交通網の早期充実が望まれるが、それに加えて建設業に対する土木工事、建築工事の増加が必要と考える。
製造業	機械器具製造	延岡	九州地区も北九州地区(大分・福岡)を中心に引き合いは出てきましたが、単価、納期ともに大変きびしいものがあります。
製造業	塗装業	延岡	最近の景気について、良くなってきたとニュース等では言っているが、宮崎県、特に県北に関しては、全く景気回復しているとは思えない。県北が景気が良くなるような策を考えてほしい。
製造業	食品工業	日向	デフレ回復
製造業	鉄鋼業	日向	良い企業と悪い企業の格差が広がっている。人材や設備への投資に対する補助を厚くしては、中小企業の体力を強くすることが、地域経済の活性化には不可欠。
製造業	コンクリート製品	日南	県南地区の公共事業は激減のため、需要も減少し、当社製品も県央、県北、県外へ出荷納入している。このままでは当工場の主力製品の製造も県内の他の工場(高城、国富、延岡)へ移すことも検討しなければならず困っている。
製造業	自動車専用部品製造	日南	1)海外進出を進めるのに、手探り状態です。行政でアドバイスしていただける部門があれば助かります。(市町村レベルで)2)人材育成の補助金と設備の使用を緩和してほしい。せっかくいい施設があっても規制があり、利用できない。
製造業	金属加工業	日南	製造業は少なからず動いています。ただ、いいところと悪いところの差があり、過去の不景気で痛い目にあっているから、今の状況はわかっているが若干臆病になっていて動き出すのが鈍くなっています。
製造業	紙・パルプ製造	日南	現状の道路整備などをより進めてもらいたい。
製造業	各種印刷	小林	市町村合併により発注の数が減り受注が難しくなる。広域電子入札が予想されているが地元優先対策をお願いします。
製造業	焼酎製造販売	串間	「地産地消」地域特産品の赤芋を使った焼酎を、全国市場へ拡販の高揚をお願いしたい。
製造業	産業用CCDビデオカメラ製造	串間	他企業の一部製品分野からの撤退等により難しい製造の受注が増加しているが、この製品に対応できる従業員が不足し、結果として弊社の業績への寄与が期待通りにならない可能性もある。能力レベルの高い労働力が補填できるのか懸念している。行政に対する希望等はない。
建設業	タイル施工工事	都城	消費税を上げないこと、歳出の無駄を徹底して省くためにも、不必要な特殊法人は極力廃止していただきたい。



建設業	管・水道施設工事業	都城	材料費が上昇しいつまで価格が上がり続けるのか不安だ。昨年あたりから何度かに分けて上昇してきている。この上消費税が上がると需要の停滞がおこるのではないだろうか。
建設業	建設業	都城	公共工事の増加と工事内容の削減の中止
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	宮崎市では市町村合併に伴い、いちだんと活発になるだろう。見守って生きたい。
建設業	電気設備工事	宮崎	特に宮崎市等では、県外資本による経済活動となっており、県内循環型の仕組みが弱い。よって、利益が県外に流出している部分が強く、一向に景気上向きにならない(例として、イオンの活況に比べ、市内小売業は沈滞している)。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	県内の仕事が県外業者へ渡りすぎ。もっと県内業者への配慮をお願いしたいところだ。
建設業	建築設計監理	宮崎	国・県等官庁から発注される設計業務の報酬額が年々下がっている。業務の内容や報酬額を国交省告示1206号にもとづき、充分な算定根拠を示して、契約履行に必要な費用を設定してほしい
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	都市部ではプチバブルと言われ景気の回復が見受けられるが、地方においては不景気は早くきて、景気の回復は遅くやってくる。都市部の状況で定率減税等の税制改正が行われる。個人の消費が改善するまで、税制改正は待つべきではなかったのか？産業のない田舎での建設業の役割は大きなものがある。建設投資の抑制による打撃は大きいものと考えられる。
建設業	建設業	延岡	油脂類等の高騰による設計単価の見直しを早急に望む
建設業	土木工事業	延岡	できれば、地産地消。できれば、地元優先(公共工事)が望みですが・・・。
建設業	建設業	延岡	昨年の台風等の災害復旧工事が、少しずつ出てきている。今から3月にかけて入札が行われるので、受注の期待が高まっている。各業者とも！通常の公共工事の予算が増えていくことを願いたい。
建設業	建設業	延岡	地方(特に宮崎県)は公共工事(土木・建築)に頼っている面が大きいので、工事量の減少量は都市部より緩やかにして欲しい
建設業	建設業	日向	公共工事を増加してもらいたい。
建設業	建設業	日向	前にも提出した通り、国や県が進めて(指定)いる技能検定技能士の無い事業所が指名入札に参加して落札し工事を行なっている現状があります。市・県の指名をするメンバーが国が定める技能士等を有しない業者が指名に入っている事を知っているか知らないか疑問です。
建設業	建設業	日向	特にありません。
建設業	建設業	日向	最近耐震偽装が問題になっておりますが公共施設においても早急に調査し耐震補強工事を発注する事により景気の浮揚になりえるものと思われまます。
建設業	電気工事業	高鍋	大企業が地方へ進出できないシステムを作してほしい。大企業は外注に回し、事務手数料と管理だけで、元請けが、安い金額で下請けを使う。いつまでたっても地方は、悪くなる一方。電子入札や電子納品は、請負業者の特色がまったく表れず、行政の楽な方向ばかり進んで、業者いじめもはなはだしい。中小企業は倒産すれば良いといわんばかり。ISOで本当に利益の出る企業になるのだろうか(費用が高いのに)
建設業	土木建設業	日南	国交省が一般競争入札制を検討していることに注目している。不良会社は保証会社や銀行などの工事保証が不可能なため入札に参加できなくなる。これにより勝ち組と負け組が一層色分けされてくるものと見られる。県にも同様の対応を望みます。
卸売業	建築・木工・金物	都城	社員をもっとやる気のある人材に育てていこうと考えています。
卸売業	塗料販売	宮崎	県内の取引は県内業者へ発注する
卸売業	食品卸売	日向	中央と地方の景気格差が広がる一方の気がします。国の施策もそれらをふまえて一律でなく多様な施策を期待したい。

卸売業	建築資材販売	日向	景気は上向きとあるが、大手企業だけである。中小企業には何の関係もありません。トビックス株高は外国人の投資、個人インターネットの買うのみで上昇で、好景気で上昇(株高)ではありません。
卸売業	焼酎製造業	小林	酒税等税金の増加があり軽減を望む
小売業	贈答品販売業	都城	消費者のライフスタイルが急激に変化している中でお店がどう対応していくかが最大の課題。行政に関しては血税の無駄遣いを切り捨て合理化してもらいたい。それに付随して国民負担を軽くして活気のある市場を創造してもらいたい。
小売業	燃料販売業	都城	仕入価格の上昇に如何に対応するかが大変な問題であります。
小売業	食料品小売業	都城	消費税アップが検討されているが、景気の悪化になるのではと心配している。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	燃料の高騰について行政の施策的なものは検討できないのか
小売業	全酒類卸小売	宮崎	都市部から景気は回復基調にあるようだが、我々としてはさほど実感が無い。期間限定にて、交際費課税免除を実施できれば、景気の底上げができ、一気に景気回復に向かうのでは？と考えている。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	DPEはデジタル化が進み、構造不況業種になっている。コニカミノルタやAGFAの撤退と厳しい状況が続いています。
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	もっと町の中に人が集まるように中心地に若者が集まる楽しい街になるように
小売業	コンビニエンス	宮崎	今後の景況については期待が持てない。現在、大手企業優先対策の行政方針の様に私達小売業界から見るとそう見受けられます。小売業の現況についても、もっと目を向けて欲しいと思います。
小売業	切花鉢物販売	延岡	いつも思う事は、今年こそは心のゆとりのある商いが出来るように願っているのですが、報道によると、経済状況も少しづつではあるが、明るさが見えると聞きますが、我々の中小企業に明るさが見える日は、まだまだ遠い気がする。
小売業	酒類販売業	延岡	消費税値上げは、絶対に反対です。税率が上がると、日本全国倒産続出すると思います。
小売業	建築木材製品販売	日向	取引先の選別の難しさ、責任の無さ、自己破産が簡単にでき回収困難に、また、回収が出来なくて連鎖倒産においこまれてしまう倒産防止は借りたら支払しなくてはいけない、支払しなくて良い対策(保険など)どうにか出来ないものか？
小売業	時計・宝石小売業	日向	街づくり等の地元の商業活動の環境作りに指導と資金面の応援をお願いしたい。
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	プロパンガス	日南	灯油が品薄高値と卸会社などが、よくテレビ・マスメディアで発表しているが、大手ホームセンタ等で景品まがいの販売をしている。石油・燃料業界では高売りしているように感じられている。情けない。
小売業	ガソリンスタンド	日南	人口流出を防いでほしい。企業誘致を是非お願いします。若い労働人口の減少は日南市にとってマイナスである。
サービス業	コンサルタント	都城	公共事業の増加・復活
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	都市部及び大企業では、景気が良くなっているようだが、宮崎ではその実感がない。宮崎の景気が良くなっている資料がありますか？もしあれば、希望が持てるのだが。
サービス業	旅館業	宮崎	景気の浮揚策として具体的な方策とか方向とかいったものに対して行政側からのアクションが全然見えてこない。このままでは、宮崎県はさらに取り残されて、全ての面で立ち遅れていくように思います。形式だけでなく、具体的な景気対策を望みます。
サービス業	広告代理業	宮崎	設備投資や雇用の持続的拡大につながるような政策を希望
サービス業	クリーニング業	延岡	ニュースなどでは、株価の回復など伝えられ、景況は回復傾向にあるといわれているが、まだまだ実感はない。県内でも、特に延岡はそういった感が鈍いと思う。現在市長選に向け、各候補者がマニフェストをかかげ支持を訴えているが、本当に延岡の街で、明るく活気のある街に再生される事を期待したい。

サービス業 飲食業	日向	石油の高騰などによる製品の仕入価格の上昇がきつい。輸入原材料(石油製品、牛肉等)の安定した供給をしてほしい。
サービス業 運輸業	日向	石油製品価格高騰の抑制。金融支援。
サービス業 警備保障	日南	毎年の入札件数は競争の激化にあり、低価格で落札する。役所の方として低価格が理想とされるが、委託業者として厳しい経営となる。このため積算され、最低価格を設定して頂きたい。(設定価格は公表しない)
サービス業 屋外広告物製作	日南	残念ながら私たちの声は届かない。それは力量のある行政マンがいないからだと思う。敏腕担当者の出現を乞う。例えば「県内1時間構想」。郡部の消費者は宮崎市内ににて買い物をして、郡部の商店は衰退するという悪い構想になぜ反対しないのか？
サービス業 運送業	日南	貨物自動車運送事業では規制緩和により同業者が10年前と比べ、2倍の数になり、単価の下落、同じ仕事量で売上は減少、サービスは増え続け、売上の2割を占める燃料は上がり、経営は危機に達しています。そんな中で勝ち残った企業だけが国を支えて行くわけですが、だからといって国の負債が下って行くとは思えません。
サービス業 タクシー業	小林	地方経済は低迷の上に、本県は台風14号以降大幅な落ち込みが加速されている